

もっと

# 知ってほしいシリーズ冊子・インターネット情報に関するアンケート結果

実施期間	2015/3/18～2015/3/31
アンケート依頼数	409施設
アンケート依頼先	がん診療連携拠点病院 患者相談支援室
アンケート回答数	88施設
設問数	10問
アンケート調査方法	郵送による送付・FAX回収

## 1. 冊子について

### 満足度は高い

- 既存の冊子についての満足度は非常に高い(図1)
- 他のがん種、治療に関わる冊子の要望の声も多く聞かれた

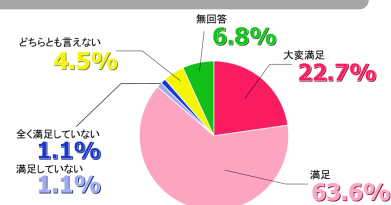


図1. 冊子の満足度

### 活用の幅を広げている

- 2013年に行った同様の調査と比較し、設置場所は殆どの施設で相談支援センター内に落ち着いた様子(図2)
- 一方、活用方法については診察時の説明用参考資料としても活用の幅を広げている(図3)

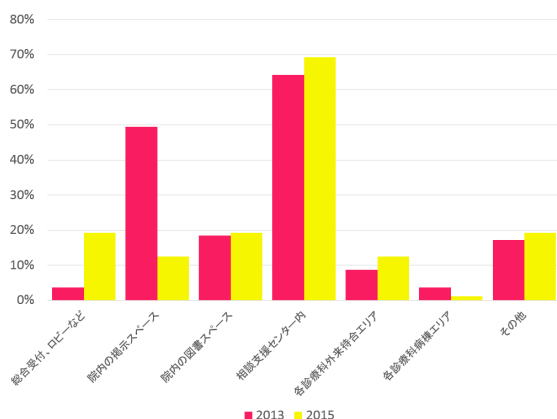


図2. 冊子の設置場所

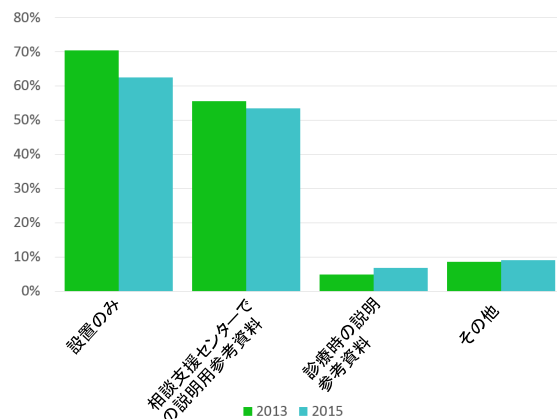


図3. 冊子の活用方法

### 「もっと知ってほしい」シリーズ冊子の特色を知ってもらおう

- 他の冊子を掲示しているため、置く場所が無い、利用が難しいとの声が聞かれた
- 他の冊子との違いを認識し、使い分けをして貰うことが重要だと考えられる

## 2. CNJの活動について

### 最も期待される活動は冊子の制作、配布

- 冊子制作、配布が最も期待されるという結果になった。病院において最も活用しやすいからであると考えられる(図4)

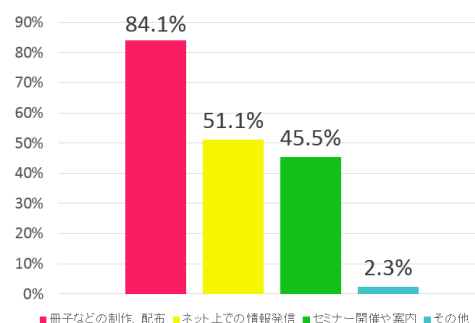


図4. CNJに期待する活動

### CNJのホームページにおける情報発信は有用である

- 75%の施設でCNJのホームページが認知されており、ホームページ上での情報発信は有用であると考えられる(図5)
- よく利用するがん情報サイトでも、国立がんセンターの「がん情報サービス」の次に利用されており、患者さんに安心してお勧めできるサイトと認識されている(図6)

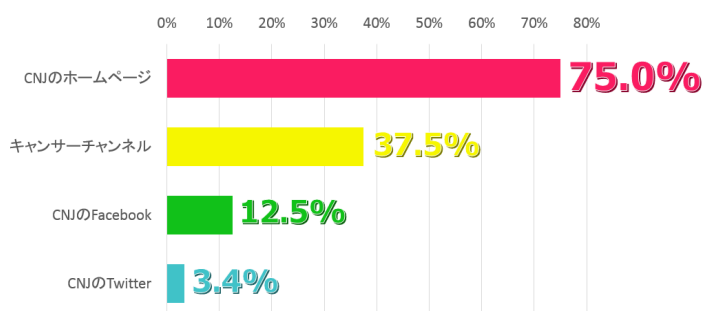


図5. CNJが提供する情報発信の認知度

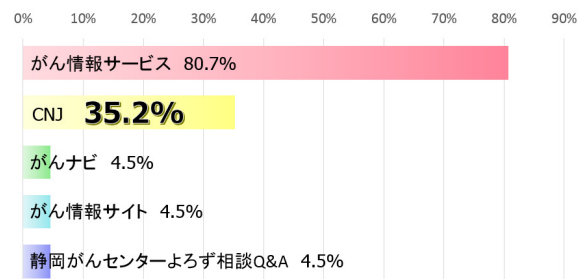


図6. よく利用するがん情報サイト

### CNJのFacebook, Twitterは認知度が低い

- CNJのFacebook、Twitterに関しては認知度がまだ低い(図5)
- 各疾患ベースのFacebookページは既に運用中のため、冊子とどう連動させていくかが今後の課題となる

ご協力誠にありがとうございました。

